

浜通りワイド

バリアフリーで朗読劇

いわきで 20日 視覚障害者に配慮



東京の劇団が舞台

いわき市の視覚障害者サポートグループは、二十日午後二時から市内のア

リオス大リハール室で視覚障害者も楽しめる朗読劇を催す。入場無料で、同グループは多くの来場を呼び掛けている。

「観る側も演じる側もバリアフリー」がテーマで、東京を中心に活躍する「演劇結社ほ

っかりぱっかり」がステージを披露する。劇団所属の美月めぐみさんは同市出身。夫の鈴木大輔さんと共に心に

朗読劇をPRする(左から)佐藤、半沢、谷平さん

しみる朗読で物語の世界に引き込む。

漫画家・エッセイ

ト東海林さだおさんの「丸かじり」や児童文学作家・小説家柚木真理さんの「にいちゃん、ぼく反省しきれません」、オリジナル朗読コント「悪いひとじゃないんだけど…」などが披露される。

同グループによると、市内で視覚障害者手帳を取得しているのは約千四百人。グループは視覚障害者の交流の場を設ける活動などを展開している。

半沢美子副会長、佐藤恵子事務局長、会員の谷平雅子さんは三日、朗読劇PRのため福島民報社いわき支社を訪れた。三人は「健常者も視覚障害者と一緒に楽しみましょう」と話した。